

2005 年第 1 回例会プログラム

日時：2005 年 12 月 2 日（金）13:00～17:00

会場：香川大学研究交流棟会議室

（香川県高松市幸町 1 - 1）

1. 海面乱流フラックスによる大気 - 海洋間の CO₂ 交換量測定

*伊藤 翼
近藤文義
塚本 修(岡山大学大学院自然科学研究科)

2. 定常性からみた海面乱流フラックスの評価

*鈴木由宏
塚本 修(岡山大学大学院自然科学研究科)

3. 海洋地球観測船「みらい」における海面 CO₂ フラックス測定

*渡辺千香子(1)
近藤文義(2)
岩田徹(1)
塚本修(3)
山本晋(1)
(1 岡山大学大学院環境学研究科, (2) 岡山大学大学院自然科学研究科, (3) 岡山大学理学部)

4. NOAA/AVHRR センサーを用いた極域生態系の炭素収支モデル

*北本知之(1)
岩田徹(1)
原園芳信(2)
植山雅仁(2)
山本晋(1)
(1 岡山大学大学院環境学研究科 (2) アラスカ大学国際北極圏研究センター)

5. 自由平面上で発生させる簡単な竜巻の模擬実験

*山下賢介(高知大理)
佐々浩司(高知大理)

6. トラベリングマイクロバーストの流れ構造

佐々浩司(高知大理)
*福原弘之(高知大理)

7. 八甲田山系における突風による樹木災害の可能性について(1999年5月の事例)

千葉 修(高知大学大学院・黒潮圏),
*正木 岳志 (高知大・理学部)

8. 毎時大気解析による局地現象の解析

牧田広道(高松地方気象台)

9. 香川県等が運用する風データ(56地点)を用いた海陸風の解析事例

*岡本利次
高見佳浩(高松地方気象台)

10. 吉野川流域の降雨流量特性

*楠田雅紀(徳島地方気象台)
牧田広道(高松地方気象台)

11. 台風200415に伴って高知県大川村で発生した線状降水帯

佐々浩司(高知大理),
*古川訓男(高知大大学院)

12. 香川県19市町における高潮侵入の原因とルート 2004年台風16号,18号,2005年台風14号の場合

*藤本恒雄
高見佳浩
今村和人(高松地方気象台)

13. 2004年台風16号による瀬戸内海の高潮についての実況解析

鎌倉和夫
久重和久
佐藤祐一
福永昭史
依岡幸広
谷脇由彦
谷條薫一,
峯松宏明(高松地方気象台)
高野洋雄(気象研究所)

14. 日本の春の季節進行過程と童謡・唱歌及び芸術歌曲にみられる春の表現について
(気象と音楽の総合学習内容の開発へ向けて)

*加藤晴子(くらしき作陽大学音楽学部)
*加藤内藏進(岡山大学教育学部理科教室)

15. 大陸の梅雨前線北方への水蒸気侵入過程と広域陸面について
～日々の総観場にも注目した1998年の事例解析～

*池田祥一郎(岡山大学院自然科学研究科)
加藤内蔵進(岡山大学教育学部理科教室)

16. 2005年7月2日の梅雨前線南下による大雨

*小西誠二
橋本修
榊幸夫
竹岡昭一
安藤沙織
久重和久
牧田広道(高松地方気象台)
山下寛(現大阪管区気象台)

17. 2005年2月24日の南岸低気圧による雪

*川上幸則(高松地方気象台)
山下寛(現大阪管区気象台)

18. 徳島県剣山付近の気象特性について

千葉 修(高知大学大学院・黒潮圏)
*太田 衣美(高知大・理学部)
石川明弘(気象協会関西支社)

19. 香川における生物季節の経年変化

*森 征洋(香川大学教育学部)
高木佐和(満濃小学校)

20. 女木島における局地的強風「オトシ」について

*吉田真純(日本気象協会),
森 征洋(香川大学大学院 教育学研究科)

特別講演

題 目：「気候モデリング - グローバルからローカルまで - 」
講演者：木田秀次（京都大学大学院理学研究科教授）

交 通：JR高徳線「昭和町駅」下車、徒歩5分
JR高松駅からコトデンバスで市民病院行「宮脇町」下車、徒歩3分
または大の場行き「幸町」下車、徒歩2分



建物配置図 Campus Map

